

平成26年度

香川大学地(知)の拠点整備事業(COC事業)

評価報告書(外部評価)

平成27年10月

外部評価委員会 実施概要

日 時：平成27年9月28日（月） 11:00～12:30

場 所：香川大学 大学本部3階第1会議室（高松市幸町1番1号）

外部評価委員：計7名（○：委員長、順不同・敬称略）（ほか本学より9名陪席）

○ 益川 浩一（岐阜大学地域協学センター・センター長・教授）

田尾 博明（(国研)産業技術総合研究所四国センター・所長）

代理出席：安藤 初（同センター・副センター長）

吉田 隆則（香川県商工会連合会・専務理事）

桑井 弘之（四国新聞社・編集局長）

代理出席：木下 亨（同新聞社編集局・報道部長）

綾 宏（坂出市・市長）

栗田 隆義（まんのう町・町長）

代理出席：栗田 昭彦（同町・副町長）

西原 義一（香川県教育委員会・教育長）

次 第：

開会

学長挨拶

委員紹介

委員長選出

審議：平成26年度香川大学COC事業の実施状況及び目標達成状況について

講評

閉会

配布資料：

【当日配布資料】

委員会次第

配席図

香川大学COC事業外部評価委員会委員名簿

香川大学COC事業外部評価委員会規程

【事前配布資料】

資料1：香川大学COC事業評価報告書（内部評価）

資料2：平成26年度香川大学事業自己点検・評価報告書

資料3：平成26年度香川大学地(知)の拠点整備事業活動報告

資料4：参考資料（平成26年度COC事業（地域志向科目）授業アンケート結果
香川大学サテライトセミナー実施状況（H25-H26））

資料5：香川大学地(知)の拠点整備事業リーフレット

講 評

○ 総 括

平成 26 年度香川大学の地(知)の拠点整備事業（以下「COC 事業」という。）は概ね計画どおり各事業が実施されていると評価した。各事業の継続実施は、COC 事業に貢献するものである。

○ 全体運営分野

概ね計画どおり各事業が実施されていると評価した。ただし、以下の点については更なる充実が図られることを期待する。

・ 体制

体制整備に努力しているが、COC 事業は非常に重要な事業であることから、本事業を推進するにあたり、運営体制のさらなる強化が必要である。香川大学の方向性が地域振興に寄与にする大学づくりであるとのことであるので、今後、全学をあげた本事業推進体制が整備されることを期待する。

・ 情報発信

学生へのアンケートの結果、回収率等々を見ると、学内に対する情報発信が不十分なところもあることから、学外に対する情報発信に加え、学内に対しても積極的に更なる発信を進めていただきたい。

・ 事業評価方法

事業評価にあたっては、教育効果の評価のほかに、本事業が地域の活性化・地域振興にどれくらい寄与できたのかといった観点や、コストパフォーマンスに関する評価項目の追加、定量データを用いた分析的でわかりやすい評価基準が設けられることを期待する。

○ 教育分野

概ね計画どおり各事業が実施されていると評価した。今後は、以下に取り組むことを期待・提案する。

・ 地域志向科目の全学必修化

平成 27 年度中の実現を期待する。

・ プロジェクトテーマの焦点化

瀬戸内地域活性化プロジェクトにおいては、現状、テーマ・対象が幅広いので、今後は、自治体との連携をさらに強化し、テーマを絞り込み、成果の挙がるより具体的なテーマを設定することを提案する。

- ・ 取り組みに遅れがみられる事業
進捗に若干遅れがみられる事業がいくつかあるようなので、該当する事業については、さらなる事業推進もしくは抜本的な見直しを期待する。

○ 研究分野

概ね計画どおり、各分野とも実施されている。とりわけ、希少糖研究は非常に成果が上がっており、香川大学のひとつの研究成果の特徴である。自治体、企業等々との連携強化を図り、研究がさらに発展することを期待する。

○ 社会貢献分野

概ね計画どおり、各事業実施がされている。以下については、今後さらに充実することを期待する。

- ・ 進捗不十分な事業
進捗に若干遅れがある事業がいくつかあるようなので、着実な実施を要請する。
- ・ サテライト機能の強化
平成 26 年度は十分取り組んでいるが、地域や自治体にはサテライトオフィスに対する要望はかなりあると推察できることから、さらなる強化を目指して事業を推進していただきたい。

以 上